

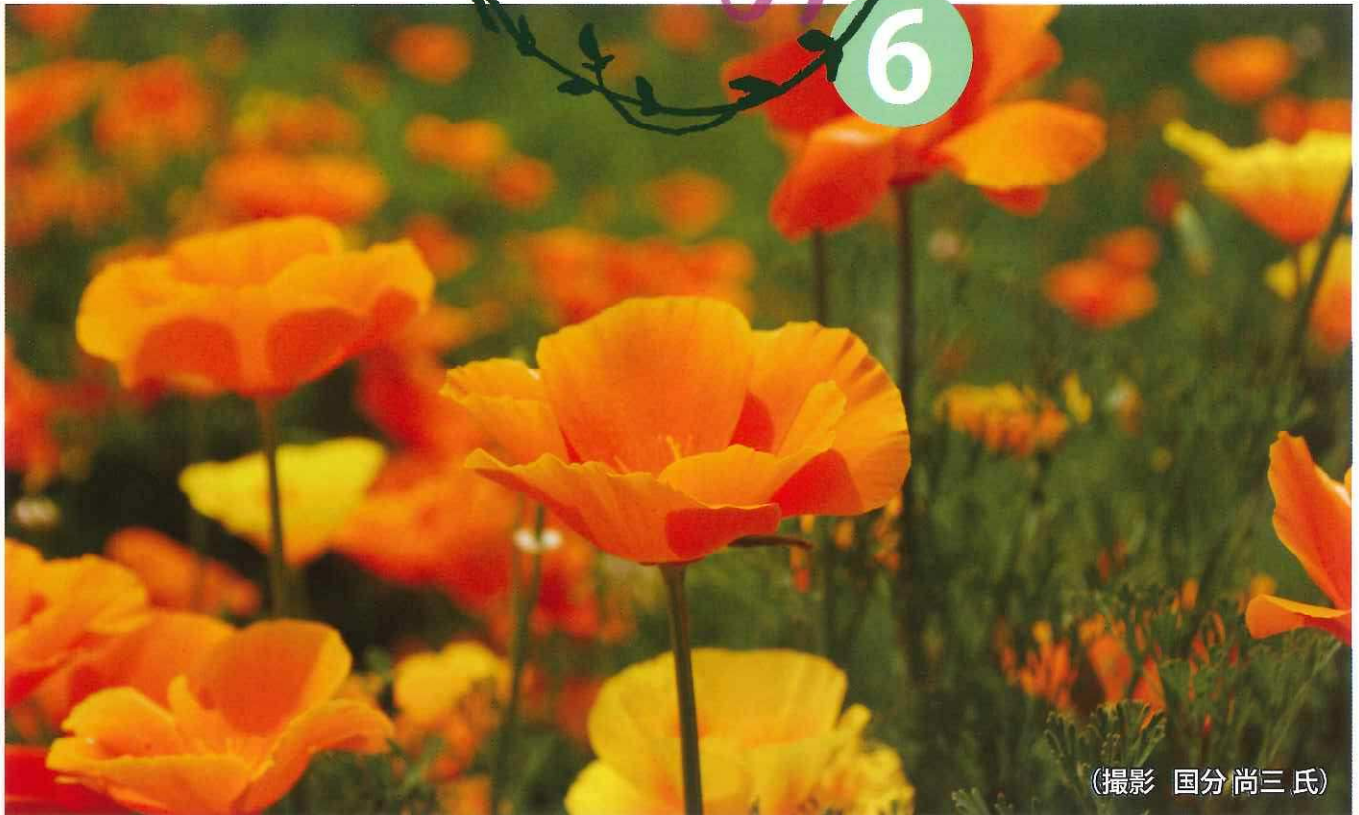
南無阿弥陀仏は
私のいのち



平成29年
6月号

NO.
473

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobiiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(撮影 国分尚三氏)

力は声なり

この六月で、出かけていく聞法会・城東ブロック会担当になって一年が経つ。新しく覚えること、教わることであつという間の一年間であつた。その中で特に驚いているのは、どういう人が携わっているのかを知っているようで知らなかったことである。

それまでも会に関わる人達とは、何度も挨拶をしたり一緒に食事をする関係であつたので、それとなくは知っている。しかし、これから会をどうしていこうかと一緒に考えていく間柄になつてみて、今までの人物像は、ただの思い込みであつたと気づかされた。そして、私は今までその人たちときちんと話をしていなかったことにも気づかされたことである。

話をするとは、相手の話を聞くことでもある。なかには耳の痛い言葉もあるだろう。しかし人の意見によって自分の考えが磨かれ、自分の意見によって相手も考え直すきっかけとなる。島崎藤村は声について、「生命は力なり。力は声なり。声は言葉なり。新しき言葉はすなわち新しい生涯なり」と説かれる。声によって人との関わりを見直すことこそ本当の喜びであり、出遇いである。

(高橋 淳記)

仏教青年会総会

去る4月25日(火)、20名のご参加を得て、仏教青年会総会を開催しました。平成29年度の方針について審議いただきました。

さらに長年会長を務めていただいた榎本隆会長が、惜しまれながらも退任を表明され、新たに本間和夫さんが新会長に就任されることとなりました。また高島和雄さんが監査に就任されることも決定いたしました。

体制は変わりましたが、以前と同じく仏教青年者としての名を確かめながら、青年らしく新たなことにも積極的に挑戦してまいりたいと思います。

仏教青年会は随時会員を募集しております。年齢に関わらず、興味を持たれた方は担当仲井まで、お気軽にお問い合わせください。
(仲井 真裕 記)

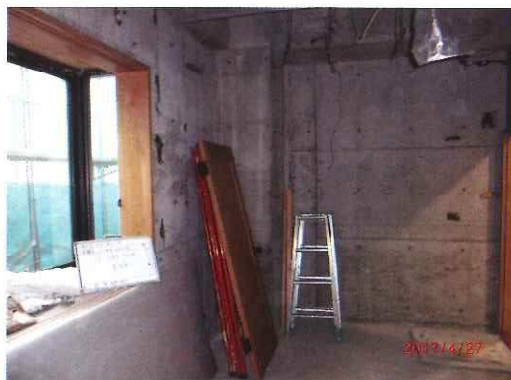


西徳寺 保全工事 進行状況の ご報告

第1会館1階、2階の水回りの工事が完了致しました。現在寺務所の床張り替え、寺務所奥の会議室、来賓室の工事が進行中です。ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



寺務所



来賓室



寺務所奥

親鸞さんのことば

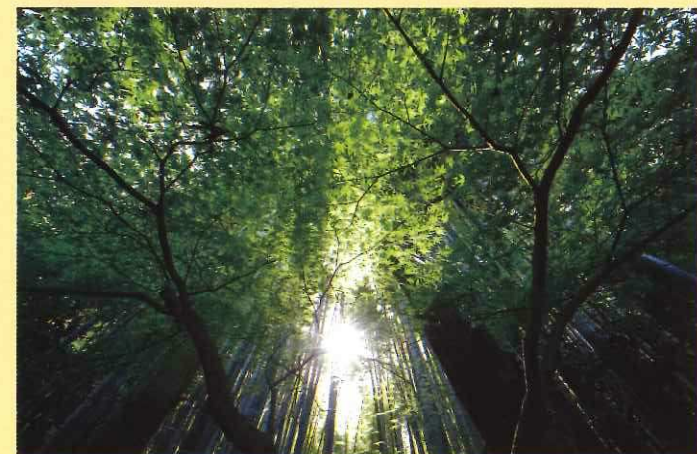
故に知んぬ、円融至徳の嘉号は、
悪を転じて徳を成す正智、
難信金剛の信樂は、
疑を除き証を獲しむる真理也。
『教行信証』総序

松井憲一

親鸞聖人は、救われがたい逆・
謗・闡提が救われるのは、阿弥陀仏
の本願におまかせする以外にない
と頂かれました(四月号参照)。それ
を受けて、「故に知んぬ、円融至徳の
嘉号は、悪を転じて徳を成す正智、
難信金剛の信樂は、疑を除き証を
獲しむる真理也。(だから、あらゆる
功德にみちた名号は、悪を転じて徳
にする智慧であり、得がたい金剛の
信心は、疑いを除き証を獲しめる真
理であると、深く知る)」といわれ
ます。

「ヒト以外 喧嘩はみんな 素手
でやる」のに、わたしたちは平和を
願いながら自己主張をして和を破
り、武装までして不安と虚しさを繰
り返しています。このような苦悩
の連鎖は、「自力」というのは、わがみ
をたのみ、わがこころをたのみ、わ
がちからをはげみ、わがさまさま
の善根をたのみひとなり。(『一念
多念文意』)と言われるように、
「わが」に力があるかぎり、自分
の力で断ち切ることはできません。
だから、如来の呼びかけに感動し
て、「わが」の思いはどうにもなら
ないと正直に受けとめ、認めるほ
かありません。その受けとめが
南無阿弥陀仏で、「円融至徳の嘉
号」なのです。円融至徳の嘉号は、
「円融ともうすは、よろずの功德善
根みちみちてかくることなし。
自在なることなるなり。(『一念多念
文意』)といわれるように、「この
上なくはたらき続けてくださるす
ぐれた呼び名」です。如来からの呼
びかけである南無阿弥陀仏は、仏
さまが讃え合っておられるお言葉
ですから、「名号を称すること、と
こえ、ひとこえ、きくひと(『一念多
念文意』)と、その呼びかけを聞く
われらに響いて、「悪を転じて徳を
成す正智(正しい智慧)」が恵まれ
るといわれます。

「火」と「田」の字を合わせると
「畑」となるように、焼き畑農業の
時代から自然破壊を続けてきたわ
れらに、悪を止めたり無くしたり
することはできませんが、悪と知
らされることはできません。「転ずと
いうのは、つみをけし、うしなわずし
て善になすなり。よろずのみず、大
海にいりぬれば、すなわちうしお
となるがごとし(『唯信鈔文意』)」
と、悪の存在であることに気づか
せて、如来の明るく正しい智慧に
入らしめて、「御身大切に」と願わ
れてあるいのちの大切さを頂くこ
縁に展開してくださるのです。
しかし、「わが」に固執するわれ
らは、いのちはわたしのものではあ
って、願われてあるいのちとは、思
いもしません。それで、「難信」とい
われるのです。信することが難し
いのは、苦しみの原因は外にあつ
て状況や事情が変われば楽になる
と思ひ、その思いこそが根本の原
因であると気づかないからです。
ときたま気づいても、懸命に信ず
れば乗り越えられると思っていま
すから、その思いの全体が根こそ
ぎひっくりかえされるには阿弥陀
仏のはたらきによる信心を頂くほ
かないのです。



それで、「難信金剛の信樂」信じ
ることは難いがダイヤモンドのよ
うに壊れることのない阿弥陀仏よ
り賜る信樂(信心)は、「疑を除き証
を獲しむる真理也」といわれます。
阿弥陀仏に出遇った信心は、阿弥陀
仏の呼びかけをいつも無視してき
た疑いの連鎖を白日の下に晒して、
阿弥陀仏の呼びかけのなかに生き
ている事実を証明し領かせるとい
うのです。
だから、聖人は、「円融至徳の嘉号
(行)」も「難信金剛の信樂(信)」も阿
弥陀仏の本願力の値遇において頂
くものとして、行を大行・信を大信
(大信心)として、ともに阿弥陀仏か
ら回向されたものと、いわれました。

山門の言葉

一番大きな貧困は孤独です 物の問題ではない

ホセ・ムヒカ

世界で一番貧しい大統領と言われている元・南米ウルグアイの・ホセ・ムヒカ氏(80)が平成28年に東京外語大学で講演されたときの言葉である。

一番大きな貧困は孤独だと力説された大統領の名言、仏典に説く阿鼻(あび)叫喚(きょうわん)の地獄を思い出させられた。現代版の孤独地獄のことだ。哲学者の三木清は「孤独は山の中に無くて街の中にある」とも言った。

ムヒカ氏によると、孤独に勝る貧困はないと説く。物を与えても解決にはならないという。果たして貧困から解放される道はないのだろうか。人間はなぜ孤独になってしまうのか。実に重い課題だ。

たまたま世界の画家、50歳にしてこの世を去ったフランスのポール・ゴーギャンの言葉に出遇った。

吾は 何処より来るや
吾は 何者なるや
吾は 何処へ行くや

まず、私は何処より来たのかの問い。

そして何処へ向かって行こうとしているのか。

そういう私はどういう私なのか。このことが明らかにならない限り孤独になつてしまふのではないのか。

経典には「いのちの大地」と説かれている。大地のいのちではなく、具体的には一つのいのちを共に生きる「共命鳥(きんめいちょう)」が揚げられている。更にそこには深い願が示されている。自分のいのちでありながら自分の私有化の許されない、生かされている「深いいのち」、そのいのちを本願と説く。その本願を聞き開いていくところに孤独からの解放が始まる。

こうした深いいのちを我が身として目に目覚めない限り、孤独地獄からの解放はあり得ないと知らされている。

(大谷 義博 記)



日誌

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 4月13日 | 東京教区研修会(照明寺 木村主任・高橋・仲井参加) |
| 4月15日 | 定例聞法会、混声合唱団「エコー」総会・練習 |
| 4月16日 | 中央ブロック会総会・聞法会(湯島天神・梅香殿 参加者30名) |
| 4月19日 | 婦人会総会(参加者約40名) |
| 4月22日 | 混声合唱団「エコー」練習 |
| 4月25日 | 仏教青年会総会 |
| 4月26日 | 『唯信鈔』に聞く 講師 宗正元師 |
| 4月27日・28日 | 宗祖忌 |
| 4月27日 | 東京教区会議(新横浜グレイスホテル 住職・大谷出席) |
| 5月7日・8日 | 中興忌 |



第 332 号

婦人会専用口座：
名義 西徳寺婦人会
番号 10030 239 82431

総会報告

4月19日(水)、春うららかな陽気の中、本堂にて会員42名の参加のもと、婦人会総会が開催されました。勤行後、脇阪住職と大谷最高顧問からご挨拶を頂きました。総会に移り、太田会長からご挨拶を頂き、小池泰子議長の下、議事が滞りなく進行し承認されました。

この度、役員改選の年に当たり新役員が選任され、また時代の流れに伴い、婦人会会則の見直しを計るために、改正案が提出され承認されました。

星月の間に移り6～10班理事進行のもと懇親会を開き、彩り鮮やかなお弁当をいただきました。最後に会員全員で童謡を歌い、大盛況の中お開きとなりました。(蓮井 邦宗)

新会長挨拶

このたび西徳寺婦人会の会長を務めさせていただくことになりました、辻佐和子でございます。15年前に亡くなった主人のお墓参りの時に、婦人会の立て札を目にし、参加させていただいたのが始まりでした。主人が私に聞法の縁をくれたのかなと感じております。

大役をおおせつかることとなり、大変恐縮しております。会員の皆様のご協力をいただきながら、微力ではございますが、会の運営のお手伝いをさせていただければと思います。皆様と共に親鸞聖人のみ教えを学んで参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。(辻 佐和子)



次回聞法会のご案内

日時 平成29年6月21日(水) 午後1時～3時
場所 西徳寺 星月の間
法話 法語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)
「弥陀の回向成就して 往相・還相ふたつなり」
最高顧問 大谷 義博
蓮井 邦宗

ひとこと

旅の観光コースには、贅を極めた城や神社、仏閣などが必ず入っています。先人の匠の技にいつも感嘆しますが、私が最も惹かれるのは、時の権力者ではなく、その時代に生きた名もなき民の存在です。寄辺ない暮らしの中で、ひたすら手を合わせたであろうところ根のいじらしさ。どんな時代でも何とか凌いで来た精神の勁さ。その日暮らしで精一杯だった庶民こそが歴史を繋いで来たと思うと、まぶしく厳粛な気持ちになります。(磯田 ひさ子)

掲示板

平成29年 6月

- 3日(土) 午後2時 評議員会定例役員会
10日(土) 午後6時 同行会「現代の聖典」に聞く
法話 仲井 真裕
11日(日) 午後2時 城北ブロック会 総会・聞法会
(川口リリア)
17日(土) 午後1時半 定例聞法会
午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
18日(日) 午後3時 評議員会総会
21日(水) 午後1時 婦人会聞法会
24日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
25日(日) 午後2時 城東ブロック会総会・聞法会
(人形町・香港美食園)
28日(水) 午後1時半 『唯信鈔』に聞く
講師 宗 正元師

えこお志お礼

新潟県 梵行寺 様 滋賀県 仏巖寺 様
三重県 東光寺 様 横浜市 酒井 義光 様
ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

中央ブロック会 総会・聞法会

去る4月16日(日)、湯島天神・梅香殿におきまして、中央ブロック会総会・聞法会を開催いたしました。今回は初参加3名を含む、29名の会員の方に出席していただきました。

議長を本間明会長が務められ、事業報告、決算報告、事業計画案、予算案が審議され、全ての議案が承認されました。

法話では、大谷最高顧問から死の恐れ、不活の恐れ(生活できない恐れ)、悪名の恐れ(悪い評判が立つ恐れ)、墮地獄の恐れ、大衆威徳の恐れ(長いものに巻かれる恐れ)という5つの恐れを取り上げられました。我々が救われる道とは、その恐れの中に気づくことであり、それは恐れから解放されることであると教えていただきました。

今回は平成29年7月23日(日)、西徳寺におきまして聞法会を開催いたします。テーマは「龍樹菩薩 二 ～一切が救われていく道～」です。お誘い合わせの上、大勢の方のご参加をお待ちしております。(蓮井 邦宗 記)




編集後記

銭湯の番台に上がり続けて70年余り、名物お婆ちゃんが92才で亡くなられました。出棺前のご挨拶で施主が「特に趣味といえるものもなく、仕事一筋の母でした」と、生前のお姿をお話くださいました。

数年前、骨折をされて寝たきりになり、それから徐々に体調を崩していかれたそうですが、「また番台に上がって、お客さんに会いたい」という意欲を持ち続けておられたことを聞かせていただき、お婆ちゃんにとって働くということは生きることそのものだったのではないかと思います。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：

 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
(メールでも結構です)

 saitokuji@ce.wakwak.com